

「新型コロナウイルスの影響で主力の鉄鋼業界が苦境です。」

「鉄鋼部門の社員はグループ全社で約800人だが構内作業に従事する社員は月に5〜10日ほど休業している。1年前は大忙しだったが小倉の高炉（日本製鉄九州製鉄所八幡地区小倉第2高炉）が止まり、1000人程度を順次配置転換している」

「業績の見通しはいかがでしょうか。」

「30%の減収を覚悟したが、少し持ち直し20%にとどまりそうだ。国内外出張の抑制などによる固定費の大幅削減や雇用調整助成金でなんとか黒字確保の見通

フジコー 社長 萩尾 寿昭氏



除菌装置事業、受注16倍に拡大

しも立った。とはいえしばらくは我慢が続きそうだが

「光触媒技術を使って各

種ウイルスを除去する空気消臭除菌装置が好調です。」「新型コロナウイルスで受注が急増しており、2019年度

約8000台が20年度は13万台まで拡大する。小型機が中心だが、21年の初めには中型機の発売も計画している」

「鉄鋼の不振を除菌装置事業が補いました。今後この傾向が続くのでしょうか。」

「除菌装置事業の売上高は20年度20億円、21年度40億円と倍増する。現在増産体制を進めており、増員も図る。創業事業である鉄鋼は主力事業としてこれからも拡大努力を継続していく

が、これに加えて光触媒事業をもう一つの主力に据える。一方で同じ環境関連製品として円筒形太陽電池事業を新規事業として育てる。電気通信大学らと共同研究を進めており、事業化を急ぎたい」

「政府への要望をお聞かせください。」

「揺るぎないリーダーシップをお願いしたい。国も会社もトップは常に批判される。決めたことはブレずに方針を貫いてほしい。それと前政権が混乱した要因

の一つであるスキャンダルはなくしてもらいたい。国民の税金を動かす以上は民間の声を聞くことが重要だ。コロナ対策は特效薬やワクチン開発とその処方・流通を優先すべきだ。コロナリスクが消えない限り経済の回復、外交の発展は望めないだろう」

【企業概要】

フジコー（北九州市戸畑区）1952年（昭和27）創業。溶接や溶射など接合技術を駆使した複合金属製品が主力。ネココロナウイルスなどを除去する空気消臭除菌装置「ブルーデオ」がヒット商品に。20年3月期売上高143億円。